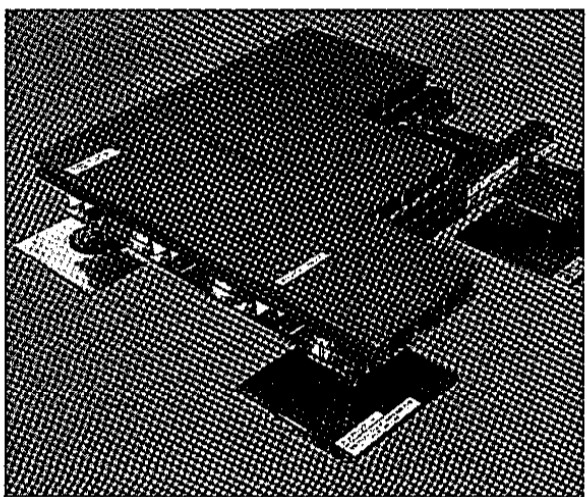


# ワンシステム「K-1デッキ」を発売

## 下地は万協スラブブロックとZAM鋼板

乾式二重床施工の道内大手、ケーワンシステム(札幌市)は、支持脚にスラブブロックシステム、フレームに高耐食溶融メッキ鋼板(ZAM)を採用した、高耐久で汎用性の高い「K-1デッキ」を発売した。

学校や幼稚園、マンションなどを対象に、大手ゼネコンや主要な設計事務所への仕様提案(スベ



高耐久な下地の構造がひと目で分かる施工模型

ックイン)を開始している。第1号は東日本ハウスが分譲するマンション「ワザック函館・五稜郭」で、18階ペランダに施工した。

乾式二重床の国内最大手メーカー、万協(東京都)の支持脚(万協フロアー外部用)を採用したのが特徴。支持脚の中空パイプホルトに接着剤を注入し、底面の外部用硬

質ゴム座で床面に固定する万協の特許工法「スラブブロック」によって、スラブ上の防水層に傷を付けることなく、簡単に支持脚を固定できる。

支持脚の高さ(下地天端高)は、スタンダードタイプが85mm〜750mm。低床タイプは65〜150mm。1本当たりの引張強度は40kgf。

メインフレームの大引鋼や根太鋼には、錆に強い日新製鋼製の高耐食溶融メッキ鋼板(ZAM、厚さ1.6mm)を採用。高い耐久性を確保した。上部のウッドデッキは積水化学工業製のアシエラウッド。火力発電所から大量に発生するフライアッシュとレジ袋など包装・容器のリサイクル樹脂を溶融・成形したもので、試験数値(曲げ弾性率、曲げ強度、シャルピー衝撃値)をみると、一般

的な人工木に比べてたわみが小さく、割れにくい。日差しが強い場所や湿

気の多いところでも伸縮変化が少なく、寸法安定性に優れている。また、色褪せの少ない表面樹脂を使用しており、長期間使用しても傷付きにくく、美観を損なわない。木製のウッドデッキと

比べて、下地フレームの経年変化がほとんどなく、木製特有のきしみ音やカタつきなどもない。木の大きさや形状などによる怪我の心配もなく、幼児や児童が遊ぶ校舎などのデッキスペースに最

適。色はミディアムブラウン、サンドイエロー、チャコールグレーの3色。同社は、万協フロアーの製造元、泰成電機工業(長野県駒ヶ根市)の長野工場で、耐荷重性能試

験を実施。積算荷重500kg、局部曲げ荷重300kgで、それぞれ安全性を確認した。同製品の問い合わせはケーワンシステムまで。電話011(631)6111。